

# 社会総がかりで子どもたちを育む 「やまぐち型地域連携教育」の推進

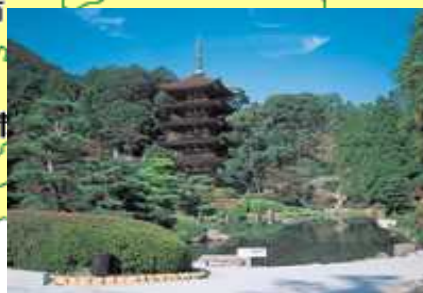


## 山口県教育委員会



1

## 「おいでませ 山口へ！」



平生町  
上関町



2

# 元気創出やまぐち！ 未来開拓チャレンジプラン

## Ⅲ 人材活力創造戦略

### 10 次代を拓く教育充実プロジェクト 重点施策36

社会総がかりによる「**地域教育力日本一**」  
の取組の推進

#### 〔施策の方向〕

- 「**コミュニティ・スクール**」で子どもも大人もイキイキとする地域にやさしい学校づくり
- 「**地域協育ネット**」による日本一の「学校、家庭、地域の温かい絆づくり」の推進

3

## 山口県教育振興基本計画

### 未来を拓く たくましい「やまぐちっ子」の育成

3つの  
施策の柱

- 1 知・徳・体の調和のとれた教育の推進
- 2 質の高い教育環境づくりの推進
- 3 生涯にわたる県民総参加の教育の推進

重点化

### 10の緊急・重点プロジェクト

#### 1 地域ぐるみの教育推進プロジェクト

- 「**コミュニティ・スクール**」や「**地域協育ネット**」の充実（一体的に推進）
- 学校・家庭・地域が連携・協働して次代を担う子どもの育成**

4

# 山口県の地域連携教育の歩み

年度	10	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
山口県	山口県教育ビジョン (H10.3 策定) H10~24 (15 年間)							山口県教育振興基本計画 H25~29 (5 年間) 改定教育振興基本計画				
国	教育振興基本計画							第2期教育振興基本計画				

コミュニティ・  
スクールの推進

H17~

地域協育ネットの推進

H23~

「やまぐち型地域連携教育」の推進

H27  
~

**H28. 4. 1 県内の全ての市町立小・中学校が  
コミュニティ・スクールに指定**

5

## 山口県のめざす「コミュニティ・スクール」3つの機能

**学校運営**

— 学校運営の質の向上

**学校支援**

— 学校教育の質の向上

**地域貢献**

— 学校を核とした  
人づくり・地域づくり

## 山口県の「めざす学校像」

- ☆ 地域に開かれた学校
- ☆ 地域づくりに貢献できる学校
- ☆ 地域の人々の拠り所となる学校

6



## 山口県のめざす「コミュニティ・スクール」3つの機能～学校運営～

### 学校運営 — 学校運営の質の向上

学校運営協議会の主な役割

- 学校運営基本方針の承認
- 学校運営に関する意見
- 教職員の任用に関する意見

(「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第47条の5)

- 学校を開き、熟議により課題を共有し、解決に向けて地域と一緒に取り組む。
- 学校運営協議会において学校評価を効果的に活用し、学校運営の改善を図る。
- 学校運営協議会委員の参画による授業参観や評価により、教職員の人材育成を行う。



7

## 山口県のめざす「コミュニティ・スクール」3つの機能 ～学校支援～

### 学校支援 — 学校教育の質の向上

- 学校・家庭・地域で学校課題や目標等を共有し、教育支援活動を充実させる。
- 地域のネットワークを生かし、より多くの地域住民や保護者の参画による教育支援活動を展開し、子どもの豊かな体験や学びにつなげる。
- 学校の様々な活動を地域のボランティアが支援することで、教員が子どもと向き合う時間の確保につなげる。

#### 【取組例】

- ・ゲストティーチャー
- ・学習補助
- ・安心安全見守り隊
- ・学校環境整備 など



8

**地域貢献** —学校を核とした、人づくり・地域づくり

- 子どもが地域行事やボランティア活動に参加することにより、地域の大人とふれあう機会や多様な経験をする機会を増やす。
- 学校という場を地域住民の経験や学習の成果を生かす場、大人の学びの場にしていく。
- 学校という場が、地域住民のよりどころとなり、大人同士の絆を深めていく。



**【取組例】**

- ・児童生徒によるボランティア活動や地域行事等への参加
- ・地域の方を対象とした英会話教室や教養講座等の開催
- ・地域交流室(スペース)の設置 など

**「地域協育ネット」とは**

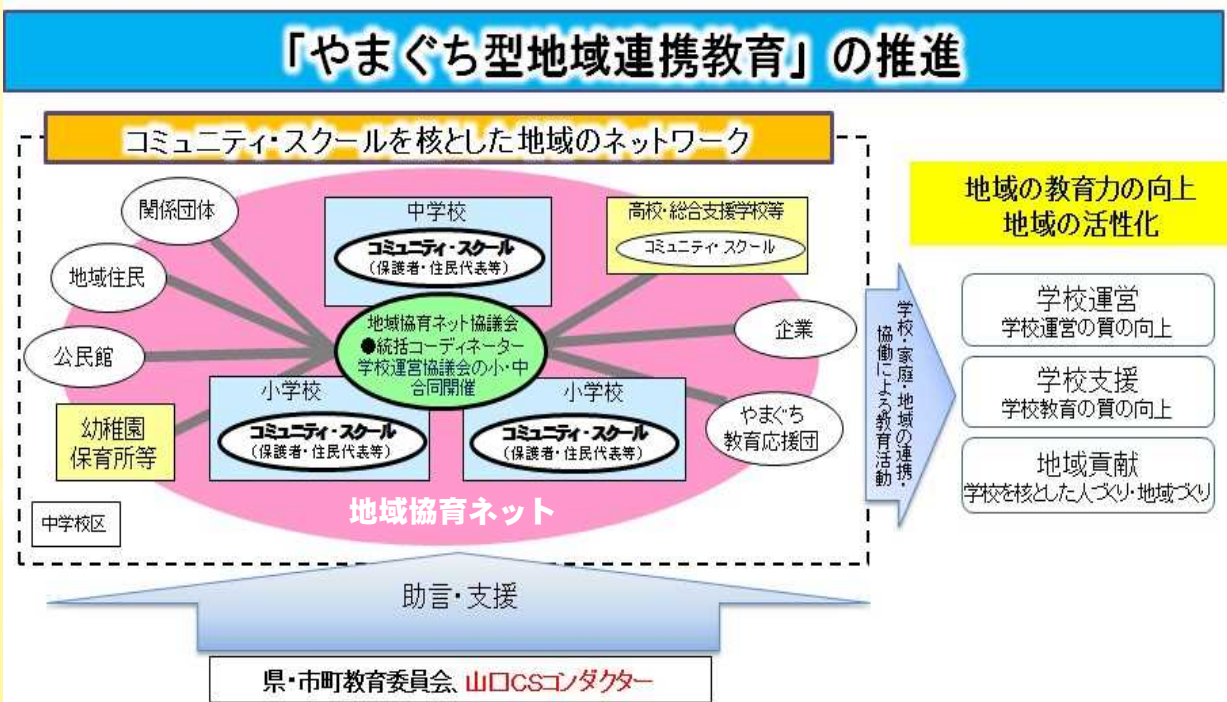
**おおむね中学校区をひとまとまりとした**

- 子どもたちの健やかな育ちを目的とした
- 幼保・小・中・高のつながりのある
- 学校や保護者、地域の人々が連携した

**子どもたちの15年間の育ちを地域ぐるみで見守り、支援するための仕組み**

# 「やまぐち型地域連携教育」について

「やまぐち型地域連携教育」のイメージ図



## 推進に向けた県教育委員会の取組

- 推進の方向性の明示
- 市町教育委員会との連携強化
- 学校教育と社会教育が連携した施策の展開



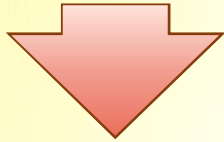
- ① 全県的な推進体制の構築
- ② 研修会の実施
- ③ 推進の核となる人材の配置・養成
- ④ 好事例の普及・啓発
- ⑤ 熟議の場づくり支援
- ⑥ 学校教育と社会教育の連携体制の構築
- ⑦ 県立学校へのコミュニティ・スクールの導入



## 推進に向けた県教育委員会の取組

### 市町教育委員会との連携強化

- ・ 県教育委員会の推進の方向性を説明し、推進の必要性の共有や推進のための取組等の共通理解を図る。



- ・ 教育長協議会、課長会議
- ・ 日常的な市町教委への訪問

- ・ 県教育委員会と市町教育委員会の地域担当、学校担当等による学校訪問
- ・ 校長の学校運営に「地域とともにある学校づくり」の視点の位置付け
- ・ 新任から3年目までの校長へのコミュニティ・スクールに関する研修会への参加の義務付け

〔 県内外に参加者を募集する全国的な研究大会への参加  
県内7地域で開催する「やまぐち型地域連携教育」の研修会への参加  
各市町教育委員会で開催する研修会への参加 〕

13

## 推進に向けた県教育委員会の取組

### ① 全県的な推進体制の構築

コミュニティ・スクール

#### 山口県コミュニティ・スクール推進協議会の開催

- ・ 県の取組方針や課題等について協議 (年2回)
- ・ 各市町コミュニティ・スクール推進協議会の代表、有識者等

地域協育ネット

#### 山口県「学校・家庭・地域の温かい絆づくり」推進会議の開催

- ・ 県の取組方針や課題等について協議 (年2回)
- ・ 社会教育関係団体の代表、有識者等

県・市町教育委員会のコミュニティ・スクール及び地域教育ネット担当者の合同会議 (年3回)

14

## 推進に向けた県教育委員会の取組

### ②研修会の実施

H27年度に実施した研修会

#### 山口県コミュニティ・スクール推進フォーラムの開催

- ・ 12月19日（土） 1200名参加
- ・ 講演：金子 郁容 氏
- ・ パネルディスカッション

#### 山口県地域教育力日本一研修会

- ・ 6月13日（土） 400名参加
- ・ 講演：貝ノ瀬 滋 氏
- ・ 熟議



参加者400名による熟議

#### やまぐち地域連携教育研修会

- ・ 8月～12月 県内7地域 総計1400名参加

15

## 推進に向けた県教育委員会の取組

### ③推進の核となる人材の配置・養成

#### 山口CSコンダクターの配置

H27：13市⇒H28：全19市町

- 県内19市町の教育委員会に配置し、モデル中学校区を中心に各コミュニティ・スクールの取組の充実、学校運営協議会の合同開催による小中連携の取組の充実などを推進するために、各学校の訪問指導・連携支援等を行う。
- コミュニティ・スクールに関する理解と経験をもつ退職校長等を配置

#### 統括コーディネーターの中学校区への配置

#### コーディネーター・家庭教育アドバイザーの養成

- コーディネーターの心得、企画運営の総合的なスキル等（年8回）
- コーディネーターステップアップ講座（年4回）
- 家庭教育支援の実際、コミュニケーションスキル等（年8回）
- 家庭教育アドバイザーステップアップ講座（年4回）

16



## 推進に向けた県教育委員会の取組

### ④ 好事例の普及・啓発

#### 実践事例集等の作成・配付

- ・コミュニティ・スクールや地域協育ネットの取組の紹介

#### 広報番組を活用した情報発信

- ・「はつらつ山口っ子」（15分）による取組の紹介（年10回放映）

### ⑤ 熟議の場づくり支援

#### 「熟議サポート事業」の推進

- ・学校運営協議会や地域協育ネット協議会等における熟議をサポート

17

## 推進に向けた県教育委員会の取組

### ⑥ 学校教育と社会教育の連携体制の構築

#### 県教育委員会の体制強化

義務教育課と社会教育・文化財課の各担当者による連携  
(～H27)



「やまぐち型地域連携教育推進班」の設置 (H28～)  
・義務教育課、社会教育・文化財課、教育政策課の連携強化

#### コミュニティ・スクールと地域協育ネットの一体的な推進

コミュニティ・スクール及び地域教育ネット担当者の合同会議  
(年3回)

山口CSコンダクターとの合同会議 (年3回)

18

## 推進に向けた県教育委員会の取組

### ⑦県立学校へのコミュニティ・スクールの導入

県立高校3校にコミュニティ・スクールを導入 (H28.4.1)

- ・ 地方創生、特色ある学校づくり

平成30年度末までに、特別支援学校12校にコミュニティ・スクールを導入

- ・ 共生社会の形成をめざした、特別支援学校を核としたインクルーシブ教育システムの構築
- ・ 学校が地域住民や、医療、福祉、労働等の関係機関と連携を一層強化

19

## 具体的な取組



20



## 具体的な取組 ①

### 学校運営



中学校生活をよりよくするために小中学生自らが考えたきまりをどのように推進していくか中学生が地域と一緒に考えてきた。



「ユニット型研修」として、5、6年生の算数科で、地域の方を交えて複式授業の授業改善について協議した。

### 学校支援



地域の子育て支援サークルの協力を受け、乳幼児とその母親・父親が11月6・10・11日の3日間にわたって中学校に来校し、3年生が子育てについて学んだ。



希望者を対象に、毎週水曜日の放課後に開催し、地域のボランティアの方に、苦手なところやわからないところをマンツーマンで教えてもらっている。

21

## 具体的な取組 ②

### 地域貢献



CSプラン「ALTと語ろう」で教科書を購入し、英語を学んできた地域の方が、1年生の英語の授業に参加。生徒にとって生涯学習を意識させる良い機会となっている。



11月に開催した「公開講座」では11講座を開講し、216名の保護者や地域の方が来校され、生涯学習の地域貢献をした。

### 地域貢献



平成27年度に「地域住民の集いの場」となるコミュニティルームを開設して、11月7日には、ここで本校児童と米軍岩国基地のベリースクールとの国際交流を実施した。

### イメージキャラクター のぼり等の作成



22



## 具体的な取組 ③



地域ぐるみの取組

中学校区地域協育ネット協議会の委員や学校教職員による「熟議」を行い、「めざす子ども像」について話し合った。



三つの小学校と中学校の教職員と学校運営協議会委員による熟議をもとに、「にこにこあいさつプラン」に取り組んでいる。中学生が校区の各小学校や人通りの多い交差点に立ち、地域の方と一緒に、あいさつ運動を行っている。



地域ぐるみの取組

大地震、津波を想定した保育所、小・中学校の合同の避難訓練に、育友会（PTA）地域の方が参加し、総勢で約1,200人による合同避難訓練を実施した。



地域の伝統芸能を学び、授業や運動会等での発表するとともに、地域の行事・文化を学んでいる。

## 具体的な取組 ④ <コミスクだより>

子どもと一緒に生涯学習

中学生と一緒にわくわく楽習スクールに参加しませんか？

～よみっこ倶楽部～



～無事力エル隊～



～まごころ届け隊～



～百人一首で遊ぼう～



～けん玉倶楽部～



～ペルマーク整理～



学校で生涯学習講座を「わくわく楽習スクール」として定期的に開催している。昼休みの時間帯から開催することで、子どもたちは、楽しく生涯学習を学び、地域の方と交流する良い機会となっている。

地域に発信

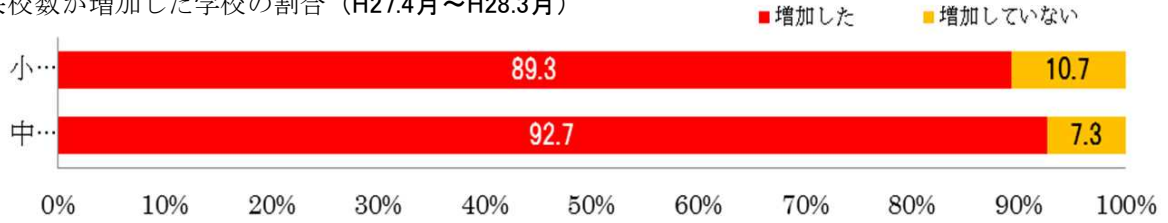


コミュニティ・スクール便りを漫画で作成し、学校運営協議会の仕組みや具体的な取組、学校支援ボランティアへの参加・協力など、読みやすくわかりやすい工夫をして作成・配布し、取組の周知を図っている。

# 「やまぐち型地域連携教育」の取組の成果 ①

## 地域の方の来校数の増加

来校数が増加した学校の割合（H27.4月～H28.3月）



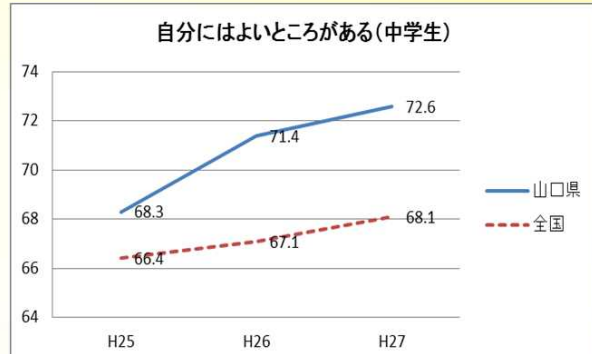
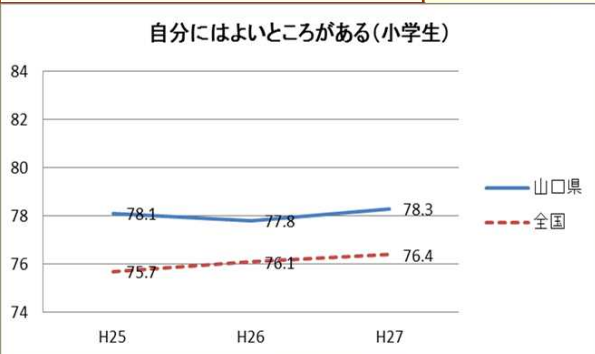
## 平成27年度の来校者のべ人数＜概数＞

- ・ 小学校 来校者数1000人以上・・・160校(300校中)  
最大 約15000人
- ・ 中学校 来校者数1000人以上・・・54校(151校中)  
最大 約4530人

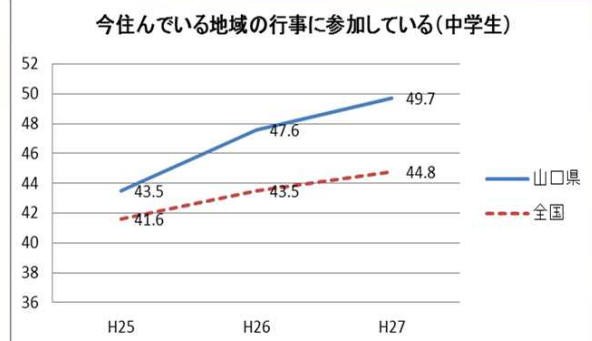
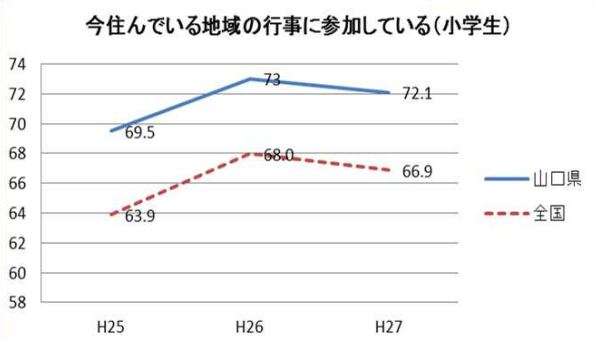
※上記の来校者数には、文化祭、運動会、見守り活動は除く

# 「やまぐち型地域連携教育」の取組の成果 ②

## 自己肯定感の高まり



## 郷土を愛する心の高まり



## 「やまぐち型地域連携教育」の取組の成果 ③

### 子どもの声

- 補充学習に参加し、地域の方に教えていただくことで、勉強が楽しいと思えるようになった。
- 地域の方と話をする中でいろいろなことが聞けるので知識が増えてうれしい。
- 地域の伝統文化をしっかりと引き継いでいきたい。
- 地域の方に見守られているという、温かみやありがたみを感じる。
- 職場体験学習で学んだことを生かして、将来、地域に貢献したい。

27

## 「やまぐち型地域連携教育」の取組の成果 ④

### 子どもの声 (山口市立仁保中学校生徒の英語弁論大会発表原稿より一部抜粋)

コミュニティ・スクールで感じたことを2つ、皆さんにお伝えします。

1つめは、地域の方なくして、心豊かに過ごすことはできないことです。地域のみなさんが私たちをサポートしたり、多くのことを教えてくださいたりしています。私たちも恩返しとして、手伝えることは積極的に行います。世代を超えて助け合えるのは、理想の社会です。仁保中は、それが可能な場所だと自信を持って言えます。

2つめは、様々な行事をとおして、自分のふるさとである仁保への感謝や愛着の気持ちが、さらに深まってきました。

僕には夢があります。それは、将来、仁保に住み、コミュニティ・スクールの大人のリーダーになることです。そして、現在、仁保地域の方々が、私たちにしてくださっているように、将来の子どもたちに恩返しをしたいです。

28



## 「やまぐち型地域連携教育」の取組の成果 ⑤

### 地域の方の声

- 子どもの姿、顔を見るだけで、元気をもらえる。
- 子どもと一緒に活動することが、やりがいや生きがいにつながっている。
- 今、神楽を教えている子が、何年か先に地域にもどってきて、一緒に次の子どもたちに指導することができたらうれしい。
- 先生たちと意見を出し合い、協力し合い、一つのこと  
ができあがっていくことに、喜びを感じる。
- 子どもたちは、大人と接することで信頼感や幅広い考え、柔軟性を身につけていくと思う。地域が子どもを育てていると感じる場面が多くある。
- 子どもたちが落ち着いてきた。よく挨拶をするようになってきた。

29

## 「やまぐち型地域連携教育」の取組の成果 ⑥

### 保護者の声

- 補充学習に参加して、地域の方に教えていただくことにより、子どもの勉強に対する構え、姿勢が大きく変わった。
- 土曜講座は、サツマイモの苗植えなど、家ではなかなかできないことをたくさん体験させていただけるので、とてもありがたい。子どもも喜んでいるので、また参加したい。
- 子どもたちが地域と関わることが多くなり、今後もその関係が続き、よりよく育ってくれたらと思っている。親も子どもと一緒に育っていけたらと思っている。
- 地域の方が、子どものいけないところを指導して  
くださるし、親にも注意してくださることをありがたく感じ  
ている。
- 学校のことがよく分かり、学校が力を入れていることがよく分かるので、毎回楽しく学校運営協議会に参加  
している。

30

## 「やまぐち型地域連携教育」の取組の成果 ⑦

### 先生の声

- 地域の方との交流を通して、子どもたちが成長していくのが手に取るようにわかるのが楽しい。
- 子どもが変わる、学校が変わる、地域が変わるのが目に見えて表れるので、やりがいを感じる。
- 地域の方に教えていただくことにより、自分自身が勉強になった。
- 自分たちが企画した計画が、地域の人たちの協力で実現したことにより、達成感が得られる。
- 行事等をやり遂げたとき、地域の人たちと喜びを共有でき、充実感を味わえた。
- 地域の方から感謝の言葉を聞いた時に、応援していただいたことをととてもうれしく感じる。

31

## 「やまぐち型地域連携教育」の更なる充実に向けて

### 平成27年度の課題

- 学校や地域間におけるコミュニティ・スクールや地域協育ネットの取組の充実
  - ・ 管理職や教職員の意識改革
  - ・ 研修機会及び研修内容の充実
  - ・ 地域住民への啓発・周知
- 統括コーディネーターの全中学校区への配置及び後継者の育成
- 地域における家庭教育支援体制の充実

### 平成28年度の取組

- 全県的な推進体制のさらなる強化
- 取組内容の充実及び推進気運の醸成を図るための研修会の充実
- 推進の核となる人材の配置及び養成
- 活動の充実に向けた普及啓発・支援

地域教育力の向上・地域の活性化(地域創生)

社会総がかりによる「地域教育力日本一」の実現

32

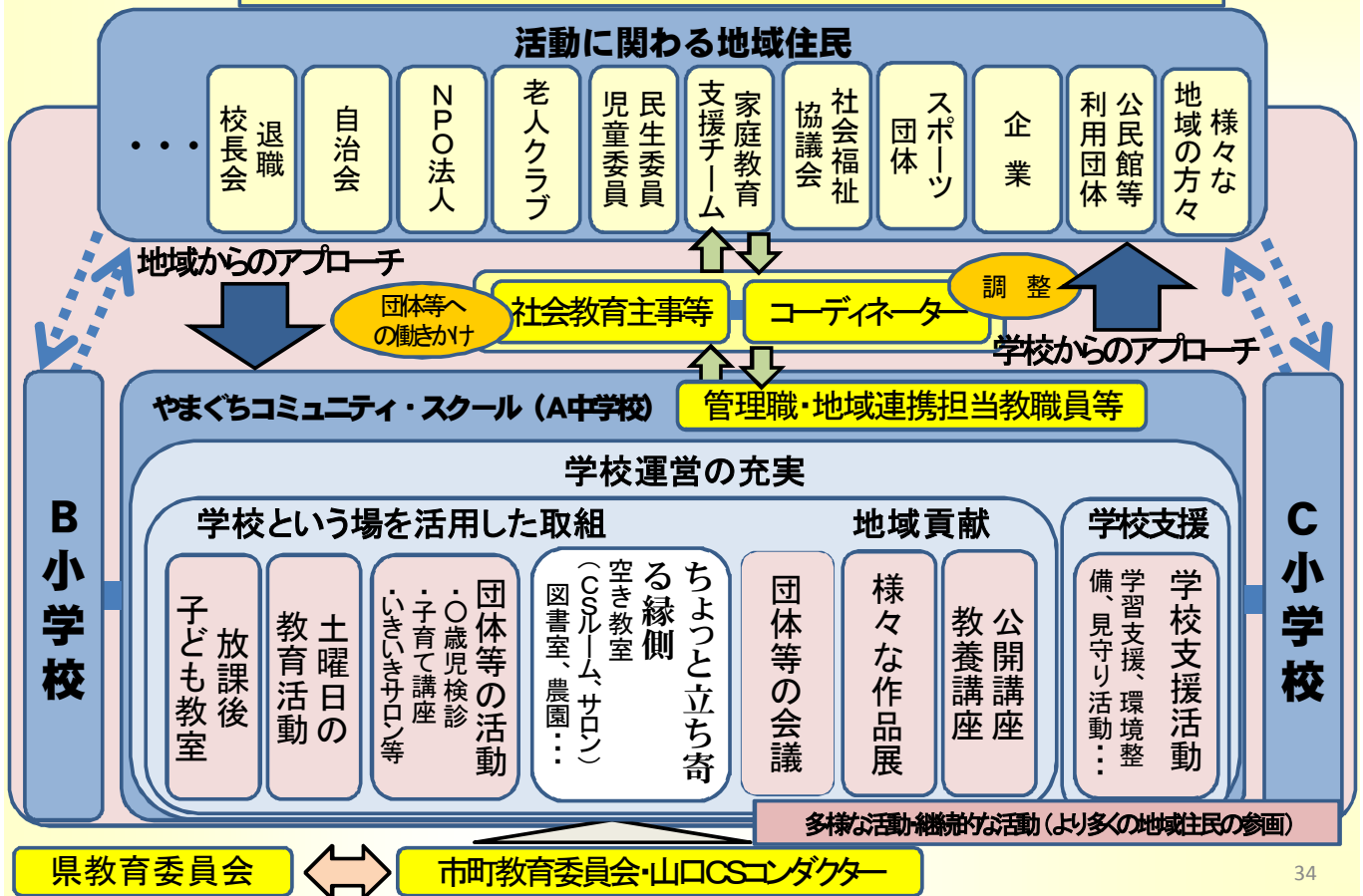
# 「やまぐち型地域連携教育」の更なる充実に向けて

～市町教育委員会と連携した県教育委員会の主な取組(平成28年度)～

	コミュニティ・スクールの充実促進	地域協育ネットの充実促進
全体的な推進体制の強化	<b>新 CS担当者、地域協育ネット担当者及びCSコンダクターの合同会議(年3回)</b> ○県CS推進協議会の開催(年2回) ○プロジェクトチーム会議(年3回) ○山口CSコンダクター連絡会(年3回)	
研修会の充実	<b>新 やまぐちコミュニティ・スクール推進フェスティバルの開催</b> <b>新 やまぐち地域連携教育の集い(7地域)</b>	
推進の核となる人材の配置養成	<b>新 山口CSコンダクターの全市町配置 13市⇒19市町</b> <b>統括コンダクターの設置 (東部・西部各1名)</b>	<b>新 「地域協育ネット」コーディネーターステップアップ講座</b> ○「地域協育ネット」コーディネーター養成講座 ○家庭教育アドバイザー養成講座及びステップアップ講座
活動充実に向けた普及啓発・支援	<b>新 「やまぐち型地域連携教育」PR用DVD作成・配付</b> <b>新 「やまぐち型地域連携教育」実践事例集の作成・配付</b> ○年間を通じたPR活動 <b>新 地域から学校へのアプローチの促進</b> ○意識調査の実施、分析(県民意識調査、モデル中学校区)	○好事例の表彰 ○広報番組の制作 ○熟識サポート事業 ○家庭教育支援チームの設置促進 <b>新 訪問型家庭教育支援事業</b>

## だれもが行きやすい学校・行ってみたくなる学校づくりに向けて

～地域の担い手である子どもたちの生きる力の育成のために～  
 ～学校を核とした地域社会の活性化(まちづくり)のために～





# 「やまぐち型地域連携教育」のめざす方向性

社会総がかりによる「地域教育力日本一」の取組の推進

**学校 = 日常的に地域の方、保護者が集う場**

家庭、地域と連携・協働した学校教育の充実  
 保育所・幼稚園 小・中学校 高等学校 特別支援学校等の連携

関係機関の連携や  
 地域の協力による  
 家庭教育支援の充実

休日や放課後の  
 子どもの居場所づく  
 り体験活動の充実

県内のどこでも、  
 安心して子育てが  
 できる  
 子育て環境の充実

子どもの安心感  
 自己肯定感  
 郷土愛の高まり

子どもの積極的な  
 ボランティア活動や  
 地域行事への参加

子どもがふるさとに  
 誇りや愛着を感じて  
 いる  
 地域の担い手の育成

大人の自己有用感の高  
 まり  
 大人同士の絆の深まり

地域課題を協議し  
 地域課題の解決に  
 向けた自主的な活動

支え合い・助け合う  
 温かい地域の絆がある  
 地域コミュニティの創造

「活力みなぎる山口県」の実現

ご清聴ありがとう  
 ございました

12月17日(土)は  
 おいでませ山口へ



やまぐちコミュニティ・スクール  
 推進フェスティバル

12月17日(土) 周南市文化会館